



月・火休館、祝日閉館 開館時間 9:30~17:00

### 今月のご案内

月	火	水	木	金	土	日
月火曜日は 休館日					1 成果 発表会	2
3	4	5	6 陶芸教室 木工教室 夜間開放	7	8	9
10	11	12	13 陶芸教室 木工教室 夜間開放	14 森へ 行こう	15	16
17	18	19	20 陶芸教室 木工教室 夜間開放	21	22	23
24	25	26	27 陶芸教室 木工教室 夜間開放	28	29	30

## 黒松内生物多様性保全奨励事業 ～ブナセンター賞 成果発表会～

黒松内の自然をフィールドにしている研究者の  
成果発表を行います。

今年度受賞テーマ

「北限のブナ林におけるブナとミズナラの倒木内部  
の菌類群集と腐朽型～枯れ木が森の中で果たしている  
役割とは?～」 発表者：深澤遊氏(東北大学大学院農学研究科)

昨年度受賞テーマ

「黒松内ブナの祖先は最終氷期の北海道に分布し  
ていたのか?」 発表者：前田唯眞氏(北海道大学大学院農学院)

【日 時】3月1日(土) 15:00~17:30

【会 場】町民センター/大ホール

【参加料】無料

【その他】時間内入退場自由

★詳しくは別紙チラシ  
をご覧ください

★裏面に関連記事あり

◆工房の利用に関しては、お電話にてお問い合わせください。

陶芸教室 時間:13:30~15:30&18:30~20:30

夜間開放 時間:18:30~20:30(木工房・陶工房)

※陶芸教室、食工房の利用は前もっての予約が必要です。

### 森へ行こう

## 満月のブナ林

雪に包まれた、静かな夜のブナ林。  
月に照らされて、雪面に映るブナの梢。  
幻想的な満月のブナ林を歩きましょう。

講師：齋藤 均氏(北限のブナ研究所)

【日 時】3月14日(金) 17:00~21:00

【集 合】歌オブナ林駐車公園(17時)

【参加費】300円(ブナさぼは無料)

【定 員】15名

(町民優先。小学生以下保護者同伴。)

【持ち物】野外で活動できる温かい服装、防寒着、

温かい飲み物、リュック、懐中電灯、

長靴または丈の長い冬靴、

かんじき、またはスノーシュー

※かんじきは貸出可

【申込み】3月13日(木)までに

ブナセンターへ電話

【その他】月が見えない場合は中止

※中止の場合は申込者に当日14:00に連絡します



### 齋藤さんの木工教室

## グリーンウッドワーク ～イスづくり～

グリーンウッドワークとは、身近な森からとった木  
を乾燥させずに生の状態でものを作る木工のことで  
す。今回は生木の特性を活かした方法でイスを作り  
ます。全4回の中で、設計・丸太を割る・削る・組  
み立てる・座面を編むところまで行います。  
(サイズ：高さ80cm・座面40cm×40cmくらい)

講師：齋藤 均氏(北限のブナ研究所)

【日 時】3月6日、13日、20日、27日

(すべて木曜日)

18:30~20:30(夜間開放時)

【対 象】中学生~大人(4回すべてに参加可能な方)

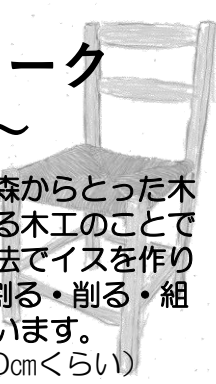
【場 所】ブナセンター木工房

【参加費】3,000円 +座面を編む材は作りながら考え、  
各自で購入していただきます。

【定 員】5名(町民優先)

【持ち物】汚れても良い服装、削り馬(あれば)

【申込み】3月1日(土)までにブナセンターへ電話



【お知らせ】ブナセンターだよりは、2025年3月号  
(No.381)をもちまして、広報くろまつないに紙面を  
移動します。これからも町内の自然情報を発信して  
いきますので、よろしくお願いたします。  
※HPからはこれまで通りご覧いただけます



Facebookの  
QRコードは  
こちら

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>

FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

## 3月1日に生物多様性保全奨励事業（ブナセンター賞）の発表会を開催します！

～発表者のお二人はこんな人～

まえだ ただまさ  
前田唯真さん北海道大学農学院造林研究室  
の大学院生。島根県出身です。

趣味は？

登山、鉄道旅行。  
目標はJR全線制  
覇と45都道府県  
のブナ林制覇！ ※千葉県と沖縄県に  
はブナ林がない発表のキーワードは  
「レフュジア」「逃避地」という意味で、生  
き物が氷期の厳しい寒さを  
何らかの手段で回避できる  
場所のことです。ふかざわ ゆう  
深澤 遊さん東北大学農学部准教授。  
山梨県出身です。

趣味は？

登山、サイクリング、  
生き物スケッチ、  
ジェンバ演奏など発表のキーワードは  
「枯木」枯木といってもいろ  
いろあります。腐朽が  
進んだ枯木の方が、多  
様な生物が住み着く  
のです。また、枯木に  
多様な菌類がいると  
材が腐りにくく、炭素  
を森に長く留めておく  
ことができます。……「枯木も山の賑わい(つまらないものでもないよりは  
まし)」という言葉があるが、「枯木こそ山の賑わい」と  
いってもいいような生き物の賑わいが枯木にはある。  
(著書「枯木ワンダーランド」より)……北海道にブナのレフュジアはあったと考えるか？  
「あったら面白いと思う！北海道のブナに独自性がある  
ということになるから」（昨年度成果発表会の質疑応答より）興味のある方、ぜひ会場(町民センター大ホール)に足をお運びください(申し込み不要)。  
オンラインzoomでの視聴もできます(前日17時までの申し込み、町民限定)。  
開催時間は15:00～17:30 時間内は入退場自由です。発表会后、交流会もあります！

## 身近なブナの木 ④運動公園の6本ブナ

黒松内の町木は「ブナ」。たとえブナ林に行けなくても、もっと身近な所でブナの木を楽しめるようにと、  
町内のいろいろな場所にブナが植えてあります。皆さんが普段よく行く場所にもブナがあるかもしれません。  
そんな身近なブナの木を紹介するシリーズの最終回です。 ※ブナの写真は昨年5月に撮影したものですアスレチックの遊具やテニスコートなどがある「運動公園  
(正式名称：山村広場)」は、町民プールがオープンした翌  
年の1987年に作られました。その翌年1988年は、歌オプ  
ナ林天然記念物指定60周年記念の『ブナ・フォーラム』が  
開催された年で、記念行事の一つとして、この運動公園のま  
わりに多くのブナが植樹されました。公園と池の境界にあるフェンス沿い、テニスコートのプ  
ール側のフェンス沿いなど、記念行事に参加した方々が植えた  
ブナはどれも大きく育っています。今回、広場の中で改めて  
発見したのが、写真の6本が寄せ植えになったようなブナで  
す。1本1本の胸高直径は平均20cm、どの木ものびのびと枝  
を広げ、よく育っており、遠くから見ると素晴らしい大木に  
見えます。雪が解けて、運動公園にアスレチックをしに行ったら、写  
真の遊具を参考に、この6本ブナを見つけてみてください。このシリーズでは、これまで①役場前のブナ並木、②マナヴェール入  
口のお出迎えブナ、③温泉の横の樹形が美しいブナを紹介しました。  
ほかにもあなたが推しの『身近なブナ』があれば、ぜひブナセンター  
にご一報ください。この木の下でシートを敷いて、お弁当や  
おやつを食べている方をよく見かけます。  
このように、木陰に人々が集まって食事  
をする大木を「ランチ・トゥリー」と呼  
びます。このブナが黒松内の「ランチ・  
トゥリー」となりますよう！